

夢を目指す皆さんへ贈るメッセージ



秋田 侑希

資格を習得するのは簡単ではありません。相応の勉強も必要で、資格取得後も、“自分がなりたいもの”を持っていないと考えがふれがちです。しかし、患者様と真っ向から向かい合いサポートできるこの資格は、他の資格に比べて、格別によりがいがあっていると思います！

勉強に自信の無い私でも、学校の仲間や先生方に支えられてここまで来られました。私ができることは、支えて頂いた多くの方に感謝の気持ちを持ち、これから資格を目指す皆さんの、良い見本となる柔道整復師として活躍して行く事だと思っています。



秋田さんは、教員の勧めで広島を離れ、整骨院業界自体が大きく変動している大阪を目指します。その中でも、高い治療実績を挙げ、患者さんに多くの笑顔を与え続けている、株式会社サンキューを選び、就職。キャリアアップもすっかりプランされたこの治療院チェーンは、「将来のなりたい自分」のモデルも明確。「なりたい自分」に近づくため、日々多くの患者さんに真っ向から向かい合い、治療を続けます。

サンキューの理念は、「すべては患者様、スタッフ、スタッフの家族のありがとうのために」。給与・社会保険・勤務時間など、業界トップクラスの環境により、「スタッフの意識が高く、チームで運営する」治療院を実現。患者様の満足もトップクラスのグループ企業です。秋田さんの理想の将来像は、患者様と距離が近く、厚い信頼を寄せられているサンキューの経営者・馬越先生。日々現場で、患者様と一体一で向き合う姿勢を磨き、後輩の皆さんにもしっかりと教えられる力を養い、さらに、独立を視野に入れた考え方と人間力を磨いています。



15

株式会社サンキュー 勤務

秋田 侑希さん

■柔道学科 2016年卒業13期生

患者さんを笑顔にできる  
一生涯の資格。

なりたい自分に近づくため、多くの患者さんに真っ向から向かい合い、治療と学びの日々。

将来、「何かの資格」を取得して、手に職を持って働きたいという希望を持っていた秋田さん。中学時代、柔道でケガをした際に手当をして下さった先生が、「医師ではない、柔道整復師と知ります。そのとき、「何かの資格」は、患者さんを笑顔にできる一生涯の資格がいい。柔道整復師は、多くの職業の中で、自分にとって一番必要で価値のあるものだ、と感じます。

地元・広島県内で柔道整復師が取れる学校があると知り、高校卒業後、IGLに入学。人体の構造や働きなど、高校時代には全く知らないことを、「基礎」として1年生からしっかりと学ぶことで、この資格の価値を再認識します。

しかし、高校時代の学習習慣のなさもあり、授業だけでは、すべてを覚えることがなかなかできません。アルバイトも両立する毎日、学習が進まず意欲が落ちてしまうことも。秋田さんは、同じ目的を持つ仲間とともに勉強することで、出来ないことは出来ないままにせず、物事を関連付ける考え方を身につけ、この課題を解決していきました。

IGLを卒業する際、どの道に進むか、どのような自分になりたいか、秋田さんは悩みます。独立も視野に入れた場合、整骨院での経験、集客などのノウハウ、経営に対する考え方、実費治療に対する知識など、多くのものが足りないのでは。これらができるだけ早く、効率的に身につけるには…